

県政の動き

8月12日(日)～10月11日(木)

8月16日(木)～18日(土)

香港フードエキスポ2012

8月21日(火)・9月3日(月)

★知事表彰「スポーツ部門」授与式

8月22日(水)

企業等農業参入塾

8月22日(水)～26日(日)

新がごしま子ども塾

8月26日(日)

★アルゼンチン鹿児島県人会創立100周年記念式典

8月29日(水)

★鹿児島ー上海線就航10周年記念式典

9月4日(火)

県老連創立50周年記念
鹿児島県老人クラブねりん大会

9月5日(水)

★平成24年度県くらし安全・安心県民大会

9月6日(木)

★奄美群島の在り方検討委員会提言書提出

9月10日(月)

自殺予防街頭キャンペーン

9月12日(水)

全国瞬時警報システム全国一斉自動放送等試験実施

9月13日(木)

★百歳以上の生きがい生活実践者訪問

9月15日(土)

県民体育大会総合開会式

9月16日(日)

第10回森林ボランティアの日活動

9月17日(月)・敬老の日

かごしま暮らし・交流セミナー in 東京

9月27日(木)

★平成24年度県障害者雇用支援・激励大会

10月1日(月)

★ピンクリボンツリー設置セミナー

★は写真入りで紹介

8月21日(火)・9月3日(月)

知事表彰「スポーツ部門」授与式



迫田さおり選手



新鍋理沙選手

ロンドンオリンピックでは、バレーボール女子が28年ぶりの銅メダルを獲得。その功績をたたえ、8月21日に新鍋理沙選手(霧島市出身)、9月3日に迫田さおり選手(鹿児島市出身)に対して、県庁知事室において、伊藤知事から知事表彰「スポーツ部門」が授与された。

なお、同オリンピックで女子サッカー「なでしこジャパン」の正ゴールキーパーとして、銀メダル獲得に貢献した福元美穂選手(指宿市出身)についても知事表彰を行うことが決まっている。

8月26日(日)

アルゼンチン鹿児島県人会創立100周年記念式典



ブエノスアイレス市において、アルゼンチン鹿児島県人会創立100周年記念式典が盛大に開催された。式典には、県人会会長をはじめ会員の方々や近隣のブラジル、パラグアイの県人会役員、駐アルゼンチン日本国大使など約380人が出席。本県からも、伊藤知事をはじめ、県議会議長および議員、県商工会議所連合会会長、県商工会連合会会長など14人が出席した。

同県人会記念式典への伊藤知事の出席は今回が初めてで、県人会会員の80歳以上の22人と、県人会活動に多大な貢献をされた特別功労者1人に伊藤知事から感謝状と記念品を贈呈し、永年のご労苦をねぎらったほか、県人会会員の方々の友好親善を図った。



鹿児島－上海線就航10周年記念式典



平成14年に就航した鹿児島－上海線が、8月28日に就航10周年を迎えたことを記念して、鹿児島空港国際線ターミナルビルにおいて、式典を開催した。

式典では、くす玉を割り、乗客の代表者へ花束贈呈が行われるなど、県や霧島市、空港関係者らが10周年の節目を祝った。

上海線は、この間、延べ16万人にご利用いただき、現在では、鹿児島と中国、そして世界各国を結ぶ交流の架け橋として、本県にとって欠くことのできない重要な交通基盤の一つとなっている。

県では今後も、幅広い分野における相互交流や、双方向からの路線の利用促進に取り組んでいく。



平成24年度県くらし安全・安心県民大会



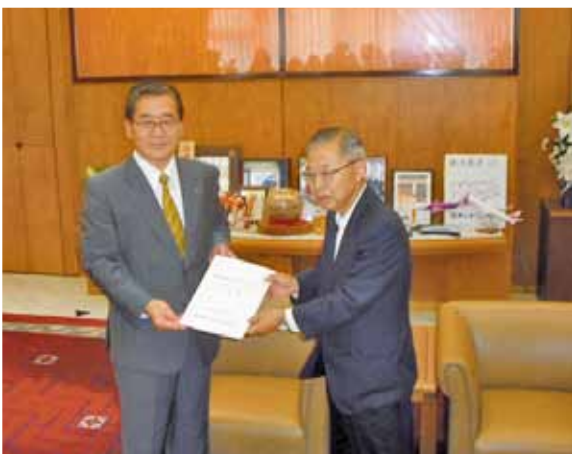
防犯や交通安全、犯罪被害者に対する支援についての意識を高め、県民総ぐるみで犯罪や交通事故を未然に防止し、犯罪被害者を思いやるまちづくりの実現を図ることを目的とした「県くらし安全・安心県民大会」を県庁講堂で開催した。

大会では、防犯および交通安全功労者等の表彰、防犯・交通事故防止寸劇、犯罪被害者の手記朗読のほか、鹿児島市立明和小学校交通少年団による「くらし安全・安心宣言」が行われた。

また、大会終了後、関係団体による「防犯および交通安全街頭パトロール」を実施した。



奄美群島の在り方検討委員会提言書提出



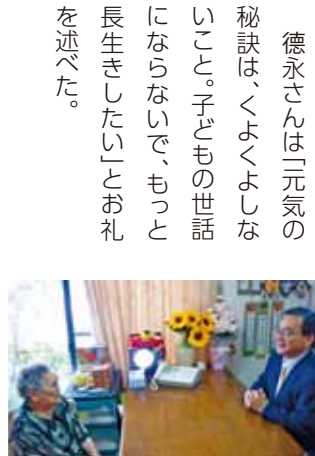
「奄美群島の在り方検討委員会」が取りまとめた提言書が、松本英昭委員長から伊藤知事に提出された。

同検討委員会は、奄美群島の在り方について幅広い観点から議論を行うため、農業・観光・情報通信などについての有識者ら7人で構成され、これまで4回の会議を開催し、活発な議論を行ってきた。

提言書では、「チャレンジャー価値ある島－奄美－の創造」を将来像として定め、その実現のため、定住・交流人口の確保や本土との経済格差などの改善のために必要とされるさまざまな施策について提言している。

県では、平成25年度末に期限切れとなる奄美群島振興開発特別措置法の延長に向け、今回の提言内容を踏まえながら奄美群島振興開発総合調査を実施していくこととしている。

百歳以上の生きがい生活実践者訪問

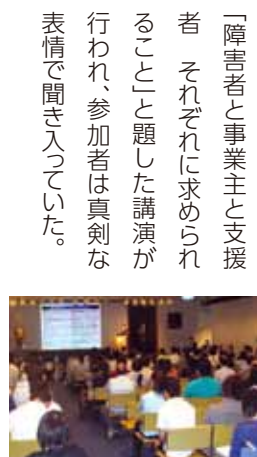


9月15日の「老人の日」を前に、多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、広く県民の高齢者福祉に対する関心と理解を深めるため、伊藤知事が、鹿児島市在住の徳永美與子さん（100歳）を訪問し、長寿を祝った。

手芸や踊りなど多彩な趣味を持ち、掃除や洗濯、炊事などの家事を一人でごこなす徳永さんを「これからも趣味を楽しみながらお元気で」と知事が激励。

徳永さんは「元気の秘訣は、くよくよしないこと。子どもの世話にならないで、もっと長生きしたい」とお礼を述べた。

平成24年度県障害者雇用支援・激励大会



9月の「障害者雇用支援月間」に合わせ、障害者雇用について県民の関心と理解を一層深めるため、「鹿児島県障害者雇用支援・激励大会」を鹿児島市民文化ホールで開催し、障害者や事業者など約200人が参加した。

大会では、障害者雇用に積極的な事業所と障害を克服し優秀な勤務成績を収めている個人に対し、県知事表彰および「独」高年齢・求職者雇用支援機構理事長努力賞の授与が行われた。

また、なんざつ障害者就業・生活支援センターの川内崇司氏から「障害者と事業主と支援者 それぞれに求められること」と題した講演が行われ、参加者は真剣な表情で聞き入っていた。

ピンクリボンツリー設置セレモニー



県では、乳がんによる死亡ゼロを目指して、10月を「鹿児島県ピンクリボン月間」とし、乳がん検診の重要性など、乳がんについての正しい知識の普及啓発を集中的に行っている。

月間の初日である1日、県庁行政庁舎1階ロビーにおいて、ピンクリボンツリー設置セレモニーを実施した。

セレモニーでは、伊藤知事が「国際ソロプチミスト鹿児島」乳がん患者会、あけぼの会鹿児島支部、「NPO法人あなただけの乳がんではなく」、「NPO法人ピンクリボンかごしま」の各団体代表者と共に、ピンクリボンツリーの飾りつけを行い、乳がん検診の受診を呼びかけた。



また、月間中は県内各地でピンクリボンツリーが設置されたほか、鹿児島市内ではピンクリボンフェスタなどのイベントを開催し、乳がんの早期発見・早期治療の普及啓発を行った。